

平成 28 年度第 1 回プラネタリウム館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成 28 年 7 月 10 日（日）午前 10 時から 11 時 20 分まで
2. 開催場所 文化センター3 階ギャラリー
3. 出席者 委員 森委員、松上委員、多賀委員、森下委員、赤瀬委員、荒木委員
事務局 染谷部長、小松参事、長谷川副主幹、岸下学芸員
4. 傍聴者 なし
5. 議題 ①平成 27 年度事業報告 (公 開)
②平成 28 年度事業経過報告 (公 開)
③その他 (公 開)
6. 配布資料 資料① 平成 27 年度 事業報告・来館者集計
資料② 平成 27 年度 幼稚園・保育園、学習投映アンケート集計
資料③ 平成 28 年度 6 月来館者集計

7. 会議での確認・承認事項

①H28 年度事業内容についての承認

8. 議 事 以下のとおり

事務局	<p>部長挨拶</p> <p>プラネタリウムは今年 22 年目。星を見ることは、子ども達に夢を与える。子ども達がプラネタリウムに来て、宇宙に思いをはせ、夢や希望を抱くことができるよう事業等ご意見、ご協力をいただきたい。</p>
事務局	<p>事務局より資料①に沿って平成 27 年度の実業報告</p> <p>昨年は機械をリニューアルし、マスコミ等に多く取り上げられた効果もあり、来館者数、歳入共に過去最大であった。投映番組は予算の関係上、ほとんど職員の手作りか、リバイバル作品となったが、新しい機械の性能を生かした番組作りを心がけ、アンケートの評価も 99%良いという評価を得た。</p> <p>課題は、広報活動。広報が来館者数を左右する。</p>
●●委員	<p>27 年度事業報告について意見はあるか。</p>
●●委員	<p>盛りだくさんの内容を少ないスタッフで行っていることに、毎回感心させられる。去年は予算が減ったなかで、委託番組が減り、手作り番組が増えたということだが、かえって良かったのではないか。手作りの、ここのプラネタリウムに合った内容で投映をするというのが大事である。</p>
●●委員	<p>アンケート結果の、1～2%の良くない点とはなにか。</p>

事務局	暇だからという理由で入った人や、子ども達だけのグループで入った子どもが、アンケートの悪い方すべてに丸を付けることが、年に何回かある。そうすると、結果に反映される。
●●委員	幼稚園投映で区域外の園児はたくさん来るのか。
事務局	幼児団体投映の割合は、市内約 1,000 人 市外約 1,600 人。 学習投映だと市内約 3,600 人、市外 3,200 人が来館する。
●●委員	市内だと、教育プログラムに組み込まれているので例年来館すると思うが、市外だと 1 回限りというところもあるのか。
事務局	市外も行事やカリキュラムに組み入れ、毎年来館するところが多い。一度来館すると、良かったとあって、連続して来館することが多い。今まで来館していた学校の先生が異動して、新しい学校の生徒を連れてきてくれることもある。印西の何校かは、年 2、3 回来館するところもある。
●●委員	松戸の教員と話したことがあるが、一度白井にくると、内容がいいので、白井に行きたくなると言っていた。
●●委員	紹介等以外で来館校を増やすようなことはしているのか。
事務局	年度初めに、バスでここからおよそ 40 分圏内の学校、幼稚園、保育園に案内を送付している。しかし、学校等、担当教科の先生へ書類が届かなかつたり、失くしたりすることがある様なので、昨年の森先生の助言を取り入れ、今年は、白井と印西の学校へは、書類一式をファイルに綴り、目立つようにして送った。来年は、松戸と柏と鎌ヶ谷の例年来館する学校にもファイルに書類を綴って送る予定である。
●●委員	一度来ると、価値があるのがわかるので、先生同士で広める事は重要。後は、距離の問題だが、成田からも来ているので、とにかく先生方の口頭で広める意味は大きい。
事務局	今までの来館者数と歳入の変遷について説明したい。 平成 7 年度以降 1 万 5 千人ぐらいで推移してきたが、13 年度に一気に増えるのは、しし座流星群、15 年度は火星接近という天文現象があったから。17 年、18 年に減っているのは、ニュータウン中央・新鎌ヶ谷とこの周辺にイオンができたのと重なる。映画館等他の楽しむ施設にお客が流れたと考えられる。そこからまた徐々に来館者が増えてきて、24 年度に一気に増えるのは金

<p>●●委員</p>	<p>環日食があったことによる。 歳入で200万を超えだしたのは、事業数を増やしたためである。</p> <p>市内と市外の人数を見て、市内の人数には、学習投映で3回来館する4年生の延べ人数が含まれるが、市外はそれを上回っている。そこから市外の評価が高いのが伺える。</p> <p>他に意見はないか。では、28年度事業経過報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今年度6月までの来館者、歳入は、昨年と同程度で、良い滑り出しである。番組は、ほぼ今年も手作りトリバイバル作品でいくが、5月から行っている幼児投映「夜空の運動会」は宗像市、来年2月からの「天の川 暗黒星雲の星座」は総合研究大学院大学の制作番組で、ほぼ無償で提供してもらった。</p> <p>昨年まで健康課、図書館と共催で行っていた「マタニティコンサート+α」は、健康課が抜け、「にんさんぷラネタリウム」と名称を変え、対象を妊婦から経産婦まで広げ、開催日数も年4回から6回に増やした。6月に1回目を開催したが、来館者がほぼ赤ん坊連れの経産婦で、対象を広げて正解であった。「ひよこプラネタリウム」は開催日を増やしてほしいという要望に応え、今までなかった10月、11月にも行い、年10回から14回にした。</p>
<p>●●委員</p>	<p>予算の関係というが、手作りの番組は良いと思う。しかし、手作りをするにはやはり人が大切で、知識、経験、実績が必要。今は少ない人数でやっているが、病気等も考えられるので、人の手当ということも考えていかなければいけない</p>
<p>●●委員</p>	<p>インターネットの更新はどれくらいしているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>週に2回ほど。ネットを見て来館する人が増えている。それと、やはりチラシをまくのは有効である。</p>
<p>●●委員</p>	<p>大変だと思うが、学校関係者向けのビデオをホームページに載せることはできるか。</p>
<p>事務局</p>	<p>スチールの写真を並べるようなことはできるが、ビデオは難しい。</p>
<p>●●委員</p>	<p>会社のホームページで、一般向けと企業向けに情報を分けているところがあるが、効果は大きい。</p>
<p>●●委員</p>	<p>情報を効率よく流すために、図書館で宇宙関連の本を借りた人にプラネタリウムから情報を発信することはできるか。</p>

事務局	相手が自分で登録してくれないとできない。
●●委員	<p>ピンポイントで情報を流すということだが、理科の教員が研修会を行う時があるので、そこで資料を掲示したり、案内を配布したり、協力ができるので、言って欲しい。</p> <p>先ほどイオンショックの話が出たが、今年はアリオショックがあるかもしれない。子供たちは、自転車でアリオまで行くほど興味関心が高い。そこで、逆にこちらからそのような施設に出かけて観望会を行う等の宣伝を行うのも良いのではないか。</p> <p>また、番組を自分たちで制作しているとのことだが、きっと興味のある中学生がいると思う。仕事軽減の意味でも、興味を持たせる意味でも、子ども達に脚本募集等するのはどうか。</p>
事務局	<p>今年はアリオに人が流れるのを覚悟しつつ、何かしないといけないと思う。4月に、ニュータウン駅前の「ほくそう春祭り」に行って、「昼間の星を見る会」を行ったが、そこで大量のチラシを配ってきた。この効果はあったと実感している。待っているだけでは、いけないのは確かである。</p>
●●委員	<p>プラチナアワーの来館者が少ないようだが、「一緒に歌おう」という様な企画は、年配者に良いのではないか。また、印西市が住みやすい街 1 位という記事を読んだが、プラネタリウムがない印西に積極的に情報を流すのも良い。</p>
事務局	<p>昨年度ライブを行った「ゆうひろ」とさんと、昭和歌謡曲と一緒に歌うイベントをしても良いと話しているので、実行できるかもしれない。</p>
●●委員	<p>ライブコンサートのステージに上がってくれるのは、プロなのかアマチュアなのか。</p>
事務局	<p>謝礼金が限られているので、その時々で異なる。</p>
●●委員	<p>柏では、プロではないが技量のある方たちがドームで演奏しているので、そのような人をこちらでも呼ぶと良い。</p>
事務局	<p>ドームでの演奏は暗い所で行うので、ある程度弾きこなしている方でないとお願ひできない。プラネタリウムの演奏は普通よりハードルが高い。こちらからお願ひする時もあるが、向うから飛び込みでやりたいと言ってくる人もいるので、今まで、演奏者には困らずにやってきた。</p>

●●委員	学校現場の話だが、やはり情報はチラシと人づてが大きい。情報をCDなどで送ってもらってもよほど興味がないとデーターを開かない。理科の先生が毎年集まる会が夏にあるので、そこでチラシをおいておくと、みんな持って帰ってくれる。
●●委員	新しい方にはやはり「まずはお電話を」というのが良い。融通が効くし、相談に応じてくれるという対応がよい。
●●委員 事務局	子ども達の作品を使った番組を学校に紹介するとよい宣伝になるのでは。 幼稚園、保育園の作品をつかった番組は作っている。
●●委員 事務局	番組を制作するのは難しいかもしれないが、中学生の星の絵や、ワンフレーズだけでも、番組に使用したら子どもはとても喜ぶ。自分の作品がでてくる番組だったら、見に来館するのではないか。 中学校をプラネタリウムに呼ぶのはハードルが高い。以前市内の中学校向けに、3年生の学習内容の投映を土曜の午前中に投映したことがあったが、今度市外向けに行うことも考えている。教科書で難しく見えることも、ドームでは一発でわかる。もう一度見たい市内の子や、塾関係に宣伝して、受験に役立ててもらっても良い。
●●委員	他になにか意見は。
●●委員	白井天文同好会から要望。学校で観望会を開いて欲しい。子供たちに望遠鏡で空を見てもらいたい。感動が違う。協力をお願いしたい。
●●委員 事務局	他には。 今、市で手数料の見直しを行う時期となっている。市の方針は、受益者負担率を100%にする方向だが、プラネタリウムでそのように算出すると、投映料金が高くなってしまう。習志野市のプラネタリウムが料金を上げて来館者数が減ったことを考えると、値上げは好ましくない。なので、一般投映料金は、現在の市内大人210円子供100円、市外大人320円子供160円を据え置きにし、今まで無料だったところや、ライブや講談会等、特別料金設定の部分を微増する方向でいこうと考えているがどうか。
●●委員	いくら値上げすると、市の方針にかなうのか。

事務局	金額すべてを上乗せするわけではなく、現状の金額の 1.5 倍を上限とすることとなっている。そうすると、市内 210 円は 300 円に、市外 320 円は 480 円となる。施行は来年度から。
●●委員	来年度からの値上げとなると、消費税の値上げともずれ込み、タイミング的に良くない。
●●委員	世の中節約志向になって、値下げの方向に向かっているところ、値上げはどんなものかと思う。
●●委員	イベント料金から微増というのが、やはり良いのではないか。松戸の投映料金は 50 円だし、柏は無料である。
●●委員	周りの施設をみて、同程度というのが良いのではないか。
●●委員	300 円が限界のような気がする。400 円になると、500 円に近い感覚で、高いと感じる。無料だったものが 100 円になるのは、100 円だったら良いと感じるのではないか。
●●委員	ところで、祝日開館となったがどんな様子か。
事務局	日曜日並みの人数は入った。しかし、職員の負担は増えた。職員の連続した休みは取れなくなった。職員の人数が多ければ回せるのだが 2 人は厳しい。
●●委員	職員が増えるということはあるのか。
事務局	現状維持である。非常勤職員に補助してもらうため、非常勤職員賃金の予算は増えた。
●●委員	人事のことであるが、現在の職員がそろそろ定年となるが、その補充というのは考えているのか。専門性が必要な部署だが大丈夫なのか。
事務局	経験者の採用ということも考えている。しかし、経験者が来たからといって、今の事業をそのままできるわけではない。引き継ぎが重要である。
●●委員	突然病気になることだってある。今から十分考えておく必要がある。
●●委員	引き継ぎ等スムーズに行って欲しい。 では、他に意見はない様なので、会議は終了とする。
	以上

